

新幹線地本申8号

「新型コロナウイルスに関する緊急申し入れ」団体交渉実施！

新幹線地本は3月18日、表題について新幹線統括本部と団体交渉を行いました。主な議論は以下の通りです。

その1

第1項：新幹線統括本部として、感染拡大の原因及び終息の展望に関する考えを明らかにすること。

回答：新型コロナウイルス感染症については、感染防止対策の徹底に取り組んできているところである。なお、今後の感染状況については依然不透明な状況であるが、引き続き感染状況などを踏まえ判断していくこととなる。

- ・公共交通機関が感染拡大の要因とは考えていない。
- ・職場で大規模なクラスターが発生し、当社の事業運営ができないという事象には至っていない。
- ・ワクチンについては、会社として必ず接種しなさいとなるか、任意となるかは決まっていない。
- ・ワクチン接種と治療薬の2つがセットになってはじめて、終息に向けての話ができるのではないかと考える。
- ・終息後の働き方のスタイルについては、効率的な業務運営が図られるのであれば無理に戻す考えはない。
- ・統括本部の課題として、エリアが広く各地方のコロナ対応策の温度差へどう対応していくか。
- ・コロナ対応策は国の指針が基本となる。今後も変わらない。
- ・プライベートでの懇親会等については強制的に制限をかけることはできないので、会社としては気を付けてとお願いする形になる。
- ・変異ウイルスについての対応は、これまでのコロナウイルス感染防止対策をやっていくことが基本になる。

第2項：感染防止の基本行動(うがい・手洗い・マスク着用)を徹底すること。

回答：引き続き、感染防止対策の徹底に取り組んでいく考えである。

- ・マスクの配布について、入手困難な事態になった場合や各職場から要請があった場合等に検討判断する。
- ・マスクの準備は各自で行ってもらうのが基本になると思う。
- ・職場の共用部の消毒については、清掃契約をしてまでお願いすることは現実的ではない。
- ・(組合より)基本行動に加え、免疫力アップの周知をお願いしたい。

第3項：県を跨ぐ会議、出張、研修、委員会活動等については中止とすること。

回答：引き続き、感染防止対策の徹底に取り組んでいく考えである。

- ・会議の趣旨等を鑑みて、開催可否の判断やWEB会議への切替等をその都度検討している。
- ・職場間交流については各職場にお任せしているが、行く側と受け側で認識をあわせなければならない。
- ・現状では統括本部として会議、出張、研修、委員会活動等について一律に制限したりする考えはないが、国からの要請があれば制限することはあると思う。
- ・会議については効率的な業務運営という視点で、リアルで開催するものやWEB会議にするという選択肢がでてくると思う。終息後、一概に全てをリアルに戻すという考えはない。

その2へ続く…